

TRACE32®: Qualcomm® Hexagon™ DSP をサポート

2016年3月 ヘーエンキルヒェン・ジーガーツブルン

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、Qualcomm® Hexagon™ DSP をフルサポートすることを発表しました。

Hexagon デジタルシグナルプロセッサ(DSP)は、CPU と DSP の両方の機能性を兼ね備えた業界トップクラスのプロセッサです。マルチメディアおよびモデム機能用モバイルプラットフォームで求められる重要な組み込みプロセッシングニーズを全面的にサポートしています。Hexagon アーキテクチャおよびコアファミリは、Qualcomm Snapdragon™ プロセッサ各種の主要コンポーネントであり、モデムやマルチメディアアプリケーションのパフォーマンスと電力効率を大幅に向上します。

TRACE32 ツールは、標準的な JTAG インターフェースを介してデバッグプロセス全体にわたり、実行制御、ソースコードデバッグ、その他数多くの機能を含んだ、迅速かつ効率的なデバッグ機能を提供します。ホストとの接続は、USB3.0 または、ギガビットイーサネットで行われます。付属の TRACE32 PowerView ソフトウェアは、C/C++といった高級言語(HLL)のデバッグ向けに、効率的かつユーザーフレンドリーなインターフェースを提供します。

TRACE32 のトレースツールは、ターゲットコアの統合トレースポートに接続し、コアから直接得るプログラムフロー情報をリアルタイムで記録します。ローターバッハ社のソフトウェアは複雑な解析ツールを数多く提供しているため、開発者は記録を綿密に調べ、実実行環境下でのみ生じる複雑な問題を探し出すことができます。さらに、タイムスタンプが付いたプログラムフローを解析することで、システム全体のパフォーマンスやコードカバレッジなどの品質評価機能を総合的に確認することができます。最大 4GB のトレースバッファとホストコンピューターへの無制限のストリーミングにより、膨大な量のプログラムフロー情報の収集、解析が可能です。

LAUTERBACH, TRACE32 μTrace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.